

ケミフィット™ C1シリーズ 取扱説明書

1 準備

チューブカッターとモンキレンチ、シールテープをご用意ください。



(参考)

☞ チューブカッターにはチューブサイズに合わせて、TC01、TC04をご使用ください。適用チューブサイズは【表1】を参照ください。

- ⚠ 注意 チューブカッターを使用しない時は、刃先を広げたままにしないでください。
- ⚠ 注意 継手とチューブは、配管状況の仕様を満足することをご確認ください。製品の選定を誤ると非常に危険な場合があります。

【表1】チューブカッター適用チューブサイズ

チューブカッター 品番	適用チューブ 外径サイズ (mm)
TC01	~13 (1/2inch)
TC04	~16 (5/8inch)

2 シールテープの巻付け

シールテープは、ねじ部を1~2山空け、巻き方向に注意して2~2.5回転させて巻き付けてください。



3 継手の取付け

手で軽く締め付けた後、モンキレンチで約2回転締め付けてください。



- ⚠ 注意 ねじ部が樹脂製のため、締め付けすぎるとねじ部が破損したり変形し、漏れなどの原因となります。
- ⚠ 注意 六角 (HEX) 部分は樹脂製のため、取付けにはモンキレンチを使用してください。スパナは、六角部分を損傷させる可能性があります。

4 チューブの切断

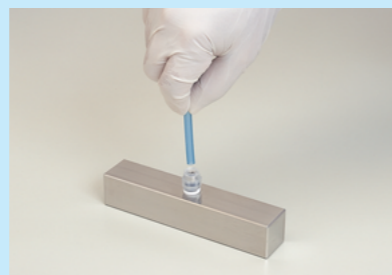
チューブカッターで、直角に切断してください。チューブの切断前にチューブ表面の汚れを拭き取り、へこみや傷、つぶれがないものを選定してください。



- ⚠ 注意 チューブ切断部分に汚れ、へこみ、傷、つぶれ、バリ、毛羽立ちなどがないようにカットしてください。また、チューブを斜めに切断しないでください。チューブ挿入時に継手のシール部分を傷つけ、漏れの原因となります。

5 チューブの接続・完了

チューブを継手の奥に当たるまで、真っ直ぐ確実に挿入してください。挿入後、チューブを軽く引っ張り、チューブが抜けないことを確認してください。



(参考)

- ☞ ケミフィットC1シリーズのミリ・インチの区別は、リリーススリーブにチューブサイズを刻印しています。
- ☞ チューブ挿入長さは、【表2】に記載しています。参考にしてください。

- ⚠ 注意 奥まで確実に挿入されていない場合は、チューブ抜けや漏れなどの原因となります。
- ⚠ 注意 ケミフィットC1シリーズは樹脂ねじのため、金属ねじと比較して応力緩和現象が生じやすく、場合により「にじみ漏れ」が発生することがあります。特に高温度域では顕著になりますので、定期的な増し締めを行ってください。増し締めができなくなった場合は、新品と交換してください。
- ⚠ 注意 当社以外のチューブを接続する場合は、チューブの外径公差が±0.1mm以内のものをご使用ください。寸法公差を満足していない場合、漏れなどの原因となります。

【表2】ケミフィットC1シリーズチューブ挿入長さ

シリーズ名	適用チューブ外径サイズ (mm)	チューブ挿入長さ (mm)
ケミフィットC1シリーズ	3	11
	4	14
	6	15
	8	16
	10	19
	12	20
	3.18 (1/8inch)	11
	6.35 (1/4inch)	16
	9.53 (3/8inch)	20
	12.70 (1/2inch)	23

6 チューブの取外し

チューブを継手本体の奥まで再度押し込み、リリーススリーブを両指で均等に押し付けたまま、ねじらずに真っ直ぐに引き抜いてください。



- ⚠ 注意 チューブを継手本体の奥へ押し込まず、リリースの押し込みが不十分な状態でチューブを引っ張ったりねじったりすると、チューブが抜けなくなることがあります。
- ⚠ 注意 チューブの取外しを行う場合は必ずチューブ内の圧力をゼロにしてください。

7 チューブの再取付け

「4.チューブの切断」からもう一度繰り返してください。一旦取り外したチューブを再度取り付ける場合は、先端部分の爪が食い込んだ箇所を切り落としてください。また、チューブ表面に汚れ、へこみ、傷、つぶれなどが無いことを確認してください。

- ⚠ 注意 内圧や熱などにより、チューブ内外径に変化がある場合はチューブも新品と交換してください。

チューブ

クリップ
チューブ

加工チューブ

フッ素
継手

クイック
継手

ケミ
フィット
継手

竹の
継手

制御
リリース

治具・
付属品

技術
資料

参考
資料

チューブ

クリップ
チューブ

加工チューブ

フッ素
継手

クイック
継手

ケミ
フィット
継手

竹の
継手

制御
リリース

治具・
付属品

技術
資料

参考
資料